



発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)
 本島通信編集室 R.191228-1229-12
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)
 Email: news@honjima.com
 発行部数: 891部 (先月比±0)
大教会 朝夕おつとめ時間
 【1月1日~1月31日】
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時00分

あけましておめでとうございます。

昨年は教祖百三十年祭より三年が経過し、天理教校学園
 高校、こどもおぢばがえり、そして教会名称についてなど、
 新たな歩みについて発表がありました。

本年は、これらの動きに対応し、心新たに私達一人ひと
 りが道の将来のために、教祖より戴いている役割や使命を
 悟り、先人先輩から受け継いでいる活動の修正も心におき
 ながら、目的や目標を見失うことなく、澄みきった心と一
 手一つの和と勇み心を胸に実践していきたいと思えます。

さらに、親神様から頂戴しているさまざまなご縁を大切
 に、信者さん方をはじめ、おたすけを必要としている人々
 に寄り添い、また、若年層の育成に力を注いで、陽気ぐら
 し世界実現に向けて少しでも教祖のお役に立てるよう共々
 に歩んでまいりましょう。

本年も陽気な一年になるよう楽しみを持ってまいりま
 しょう。

立教百八十二年元旦

天理教本島大教会長 片山幹太



あけましておめでとうございます

立教183年 各会より謹んでごあいさつを申し上げます



婦人会本島支部長 片山かおり

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、婦人会活動の上にご尽力賜り誠にありがとうございました。

本年はいよいよ婦人会が創立して110年という節目の年を迎え、4月19日には創立110周年記念総会がおちばで開催されます。本島につながる道の台がこぞっておちばに帰り、親の思いをしっかりと心に治めて、私達人ひとりが家庭や教会、職場での「お日さま」となって、明るく元気に勇んだ日々を通り、陽気ぐらしの台とされるよう、お互いががんばりましょう。
今年もどうかよろしくお願い申し上げます。

少年会本島団長 岩橋竜造

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は少年会活動の上にお力添えを賜り、ありがとうございます。

今年も教会おとまり会、こどもおちばがえりを中心に子供達に行事を通して喜んでもらえるようつとめてまいります。また、鼓笛隊では今年の夏のデイズニー出演に向けて力を入れているところがございます。これも併せてご協力の程よろしくお願いいたします。

青年会本島分会委員長 片山秀明

旧年中は青年会活動の上にお力添えを賜りまして誠にありがとうございました。

青年会は委員も新しい期を迎え、新たなスタートを切りました。総会で青年会長様よりいただいた御告辞を胸に、10年後のビジョンに向けて今の自分達に何が出来るのかを考え、自分達の徳分を活かして出来るおたすけの実践に挑戦してまいります。
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本島学生担当委員長 池田さわみ

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は学生層育成の上にご丹精下さりありがとうございました。

本年も委員一同、学生会行事を通じて、学生がおちばに大教会、所属教会につながるように心をかけさせて頂き道の後継者育成に尽力させて頂きたいと存じます。
何卒お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

足元を踏み固めて 歩みを進めよう

12月大教会教会長会議

立教182年12月22日

大教会長 片山幹太



今年一年を振り返ると、歌手の水前寺清子さんが歌われた「三百六十五歩のマーチ」を思い出しました。

しあわせは 歩いてこない
だから歩いて ゆくんだね
一日一歩 三日で三歩

三歩進んで 二歩さがる
人生は ワン・ツー・パンチ
汗かき ベそかき 歩こうよ
あなたのつけた 足あとにや
きれいな花が 咲くでしょう

腕を振って 足をあげて
ワン・ツー ワン・ツー
休まないで 歩け

ソレ ワン・ツー ワン・ツー
ワン・ツー ワン・ツー

(歌詞：星野哲郎、作曲：米山正夫)

この歌詞の「しあわせ」を、「陽気ぐらし」に置き換えて考えてみてはいかがでしょうか。

陽気ぐらしは歩いてこない。こちらから歩いていくのです。だから教祖が先頭をきってつけて下さった道を、私たちは前へ前へと進めていかないといけません。油断をすると、すぐ雑草が生い茂って道が隠れてしまいます。しっかり歩かせて頂きたいものです。

そして、たまに二歩さがることもあります。地面が緩んでいたら、向後のために、一度さがっても踏み固めて歩

かなければならないことがあります。

そして、私たちは本当に汗かき、ベそかくほど、踏んばって歩いているのでしょうか。先人のことを思ったら、まだまだ甘えている感じがします。そして「歩こうよ」に、立ち止まってはいけない、仲間と共に頑張ろう、という意味が込められているように思います。

最後に、腕を振って、足をあげて、休まないで歩く。おてふりの「ひのきしん」の手のように、腕を振って、おぢばに向かつて、歩いていきましよう。

ある歴史学者のお話です。江戸時代は、親が子を叱るときは、論じていました。それが明治、大正、昭和と戦争がたびたびあり、生命の危機が迫ってきたので、論す余裕がなくなり、叱ることが怒鳴るようになった傾向があるそうです。

教祖は決して怒鳴ることはなかったと思います。論して、論して、論し尽くされました。私たちも若者達には、教えをかみ砕いて、論す努力が大事なのだと改めて感じています。

来たる立教183年人材育成に注力していきたいと思えます。

今年一年、ありがとうございました。

(文責：本島通信編集室)

大教会長動向

▼1月予定▲

- 1日、大教会元旦祭執行
- 3日、香川教区役職者会議
- 4日、本部年頭ご挨拶
- 5日～7日、お節会ひのきしん
- 12日、渋谷分教会巡教
- 13日、本京分教会巡教
- 15日、赤峰分教会巡教
- 18日、本邦分教会巡教
- 19日、同朋分教会巡教
- 22日、大教会春季大祭執行
- 24日、修養科総立まなび
- 25日、かなめ会委員会
- 26日、本年秋季大祭
- 27日、少年会年頭幹部会

以上

慶事



池田ゆりえさん(安藝本中分教会)と中山恒治氏(本部直属本明實分教会所属)の結婚式が11月30日、大教会長夫妻媒酌のもと、本部教祖殿で執り行われました。

なお、結婚後の姓は池田となり、恒治氏が安藝本中分教会に所属変更されました。

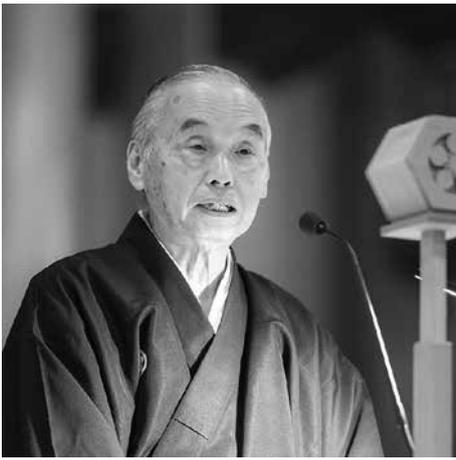
本席様と老会長様の 真実と情熱に学ぼう

大教会役員 牧野道昭
まきの みちあき

ただいまは大教会長様を心に、皆様方とともに本年納めの月次祭を一手一つに勤めさせて頂き、誠に同慶の至りでございます。

今日は、片山好造2代会長様(以下、老会長様)のご足跡と、本席飯降伊蔵先生のお話をさせて頂きます。

老会長様は明治2年4月28日、本島の甲生にて長尾竹次郎・かると夫妻の



老会長様はこの立地条件に着目し、早くから海外布教を志しておられたそうです。

明治36年には朝鮮の旧京城に渡って布教されたことから始まり、朝鮮半島各地はもとより、旧満州、中国、蒙古まで布教師を派遣し、教会を設立していききました。また船舶布教として、うまほく船員が寄港地で布教し、東南アジア方面に道をつけられました。さらに港町である横浜や神戸から、北米やハワイ諸島に布教師を派遣して、教会を設立していききました。これが現在の海外教会につながっています。

これらは「ぶんまわし布教」と称し、本島独自の布教戦略であります。

本部の昭和ふしん(昭和6年から9年)では、本部神殿、教祖殿、南礼拝場普請が打ち出され、本島分教会といたしましては、上級・越乃國大教会の下で建物の基礎となる石材一切のお供え(献石)に伏せ込み、さらに昭和9年、神殿に雛型かんろだいが据えられるにあたり、その基礎となる礎石を献納させて頂く榮譽にあずかりました。

そして晩年の昭和16年5月14日、本島大教会昇格奉告祭が執行されました。

当時の老会長様を知る方々のお話に、「老会長様は1ヶ月のうちほとんどは

朝鮮、満州に布教に出ておられて、月次祭の前夜3日か4日間だけ、本島に帰ってこられるのみでした。そして帰って来て、神殿に座られてから、大抵夜の2時3時頃まで、皆を集めてお仕込みをされたものです。とにかく教理に徹したお方で、道の権化という感じでした。」

また、ある先生は、

「私は大正12年から昭和17年のお出直しまで老会長様にお育て頂きましたが、とにかく30分くらいの話しはなく、2時間、3時間、時には夜通しでも相手が納得いかないと何日かかってでも説き伏せるというお方でした。どんなに反論していた相手でも、最後には本心に心服してしまうのです」とのことでした。

老会長様は、お気持ちには氣宇壮大で、また、情熱のあふれるお方であったのではないかと拝察いたします。

そして、たすけて頂いたご恩を忘れずに、親孝心一筋の信仰で、世界だすけ、陽気ぐらし世界建設の信念を熱く大勢の方に伝えられた方であったと思えます。

次に、本席となられた飯降伊蔵先生のお話でございます。

身上を押し越乃國支教会、河原町分教会と理の順序を經ておちばがえりをされ、身上もご守護頂いて元氣な姿で本島に戻られました。

以来、昭和17年6月27日、齢74歳でお出直されるまで、40年間をぢば一筋と親孝心の信仰で通られました。

本島は瀬戸内海に囲まれた周囲4里の小さな島ですが、この海を通じて世界の七つの海とつながっています。

高野友治先生著書の「御存命の頃18頁」を次に引用させて頂きます。

伊蔵さんのしんたんの道はこれより始まる。明治三十四年五月二十五日のおさしづに、

それより又一つくあちらからこちらから、だんく成つて来た間、丸九年というく。年々大晦日おほごもりという。その日の心、一日の日誰たれも出て来る者も無かつた。頼りになる者無かつた。九年の間というものは大工が出て、何も万事取り締まりて、よく随ついて来てくれたと喜んだ日ある。

とある。前後の事情を考えて、丸九年というのは、元治元年の大晦日を含めて慶応元年から明治六年の九年間のように考えられる。

この間、参拝者は相当あつたようであるけれども、中山家はお貧のどん底にあつた。全責任を負つて、私がやらしてもらいますと出てきた者は本席様お一人であつたであらう。

つとめ場所の建築は一時中止の形であつたが、伊蔵さんが一切を自分で引き受けて、大工の仕事は申すまでもなく、左官の仕事も手伝い役もすっかり自分の手一つでやり、外造りは出来上

がしたが、畳が入らない。それも仲田佐右衛門の寄進で上段の間の六畳だけは入り、その他は板を張つて一時を凌いだ。その後櫺本の西田伊三郎の寄進で八畳だけ入り、それでまずまずお粗末ながらつとめ場所は出来上がったのである。

その年の暮れ、大晦日になつても建築の支払いができず、あちこちへ支払い猶予の断りに回られた伊蔵さんの苦心は、想像にあまりあるものがあつたと思う。

明けて慶応元年の正月。

伊蔵さんは、三が日の後は毎日昼は得意先で精を出して仕事をし、夕方帰りがけにはいつも庄屋敷村へお勤めに行かれ、教祖、秀司先生、こかん様の御機嫌を伺い、小用を弁じて帰宅されるのが常であつた。入信以来明治十五年中山家へ住み込まれるまで、実に二十年の長い年月、この通い勤めを一日として欠かされることがなかつた。それで教祖も伊蔵さんの来られるのが少しでも遅いと、「伊蔵さんはまだ見えぬかい」とお訊ね遊ばされてお待ちになつておられた。

教祖は常に、

「伊蔵さんえ、この道は陰徳を積みなされや。人の見ている目先で、どのよ

うに働いても勉強しても、陰で手を抜いたり、人の悪口をいっていは神様の受け取りはありません。何でも人様に礼を受けるようなことでは、それでその徳が勘定済みになるのやで。ほしい、おしい、かわいい、にくい、うらみ、はらだち、よく、こうまん、この八つの心はほこりであつて、このほこりの心が病の元となりますのやで」とお教えになつた。

伊蔵さんは毎夜毎夜庄屋敷村からの帰り道で、人知れずこわれた橋を修繕したり、悪い道を直したりして、教祖からの御教えの旨を実行せられた。

そのころのこと、それは寒い晩であつた。

伊蔵さんが中山家へ伺つてみると、そんなに寒い晩にもかかわらず、教祖はじめ秀司先生・こかん様の御三人が火の気もない火鉢を寒そうに囲んでおられた。

「神様、今晩は大そう寒つござりますから、何か焚たいて火でも拵こしらえて差し上げましょう」

といつて、薪入れ場に行つてみると木の葉さえもない。戸外は大風であるが、家の中は森閑しんかんとして鼠ねずみの音さえしない。それで戸外へ出てその辺をかき集めて、やっと松葉一つかみ持つてきて、これ

を焚いて火を起こした。それで火鉢のふちが暖まるのを抱えて御三人はお喜びになり、

「伊蔵さんならこそ、今晚のような寒い晩にお出でてお世話下さる」といつてお礼を申された。

そうこうしている間に夜も更けた。

「伊蔵さん、もう遅いからお帰り下され。あなたは明日の仕事がある。明日の仕事に差し支えてはならん」といわれ、お暇いとま乞こひして櫺本の家へ帰られたのだが、家に帰つてからも教祖をはじめ御三人のことを思い、おさとさんとそれを語りあかし、夜が明けるとの待ちかねてまたすぐ庄屋敷村へ出向き、

「昨夜は何もございませんでしたか」とお伺いしたこともあつた。こうして、どんな寒い日も、どんな雨の日でも庄屋敷への通い勤めはやめられなかつた。

と記されております。老会長様は、おたすけ頂いた喜びを広く世界布教を目指して、大勢の人達の先頭に立つて親神様、教祖の思召しを実現されようと歩み続けられたのであります。情熱家であります。

ご本席様は、奥様おさと様のご身上

本島通信に見る

昨年(立教182年)の出来事

の御守護を頂いたことから入信され、教祖のため、お屋敷のためにと、生涯を神一条にお通り下されたお方だと思えます。常に地道に着実に道を通られ、ようぼくの手本と言われました。
大教会は今、創立120周年を指して、私達の成人目標が発表されております。

『一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする。』

- 一、教祖のひながたを辿る
一、おつとめの勤修
一、初席者、また中席者を丹精して満席へ
一、道の将来を担う人材の育成

あらためて、その意味合いを味わい、深めまして、来年(立教183年)は、いよいよ実働の年を迎えます。お互い、この目標に向かって懸命に頑張らせて頂きましょう。
ご静聴ありがとうございます。
(文責・本島通信編集室)

員)教祖お誕生まつり

4月18日、教祖誕生祭

4月18日、婦人会本島支部の集い(詰所、約170名、講師・武内正美ひのきしんスクー

ル運営委員)

4月19日、天理教婦人会第101回総会(教会本部)

4月22日、教務願書整理(詰所)

5月3・4日、こかん様に続く会(詰所、24名)

5月4・5日、青年会GW雅楽講習会(詰所、20名)

5月8日、レッツゴー青年会(本清水分教会)

5月22日、大教会5月月次祭学生層育成者講習会(講師・中山昭悦本部学生担当委員)

5月24日、宮森与一郎先生によるおてふりお手直し第1回(詰所、17名)

5月25日、教会長子弟おちばの集い(詰所、55名)

5月25日、おかえりトーク&演奏会(詰所、約150名、守安功雅子夫妻アイルランド古典音楽演奏家)

6月3日、吉田節子氏(大教会在籍婦人)お出直し、享年96歳

6月8日、レッツゴー青年会(攝良分教会)

6月11日、大松峰分教会上棟式(松下二司会長、大分市)

6月22日、大教会6月月次祭(神殿講話・岩橋竜造准役員)

6月22日、詰所副主任辞令(追加)(後藤正治・奥村龍夫・伊東康成)

6月24日、三代真柱中山善衛様五年祭(教会本部)

7月1日、詰所の履物整理

7月7日、シートック教会創立90周年記念祭(長尾啓子会長、米国ワシントン州イースト・エッジウッド市、約30名)

7月7日、レッツゴー青年会(本太分教会)

7月18日、インターナショナルひのきしん隊(教会本部、本島より4名)

1月1日、大教会元旦祭

1月1日、大教会空前世話人会で河原町大教会参拝

2月22日、大教会2月月次祭(神殿講話・老木邦光役員)

2月28日、3月12日、大教会長ハワイ巡教

3月16、17日、倉峰分教会鎮座奉告祭(上山康雄会長、岡山県倉敷市)

3月22日、大教会3月月次祭縦の伝道講習会(講師・寺門幸治少年会本部委員)

3月22日、婦人会女鳴物勉強会(大教会、15名)

3月23日、大教会春季霊祭(20霊)

3月27日、4月3日、本島団鼓笛隊第107回春季合宿(大教会、123名)

3月28日、春の学生おちばがり(教会本部、本島より41名参加)

4月14日、大教会4月月次祭(神殿講話・片山孝子准役員)

1月1日、大教会春季大祭(神殿講話・大教会長)、大教会創立百二十周年記念祭に向かつて成人目標を発表

1月22日、准役員登用(後藤正治・奥村龍夫・伊東康成)

1月25日、教会長夫妻研修会(講師・松村登美和本部員、131名受講)

1月26日、春季大祭

- 7月22日、大教会7月月次祭
 (神殿講話・長谷川邦昭役員)
- 7月24日、宮森与一郎先生によるおてふりお手直し第2回(話所、17名)
- 7月26日、8月4日、立教182年こどもおぢばがえり(本島より、少年会員338名、育成会員545名、計110教会853名)
- 7月26日、8月5日、本島団鼓笛隊第108回夏季太宿、鼓笛オンパレード金賞受賞(133名)
- 8月4日、MOMOの会(話所、14名参加)
- 8月4・5日、少年会本島団第30回おつとめ総会とおぢばのつどい(話所、少年会員89名、育成会員60名)
- 8月6・7日、本島学生会サマーカーンプ(14名)
- 8月9日、15日、学生生徒修養会高校の部(受講者8名、スタッフ5名)
- 8月22日、大教会8月月次祭(神殿講話・池田さわみ役員)
- 8月23日、関信男氏(本三分教会7代会長)お出直し、
- 9月1日、中国四国ブロック地域の集い(大教会、18名)
- 9月5日、17日、大教会長アメリカ巡教
- 9月7日、サウザンパシフィック教会創立90周年記念祭(岡崎マローン会長、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市、132名)
- 9月8日、関西ブロック地域の集い(話所、13名)
- 9月14・16日、レッツゴー青年会(大教会、11名)
- 9月22日、大教会9月月次祭(神殿講話・井上宏准役員)
- 9月22日、婦人会女鳴物勉強会(大教会、20名)
- 9月23日、大教会春季霊祭(18霊)
- 10月2日、松下ワカエ氏(大松峰分教会初代会長夫人)お出直し、享年101歳
- 10月6日、西森俊彦(旧姓小林、社部属)孝子(栄森峰)結婚式
- 10月14日、白鳥徳好氏(本米分教会7代会長)お出直し、享年83歳
- 10月22日、大教会秋季大祭(神殿講話・世話人宮森与一郎先生)
- 10月22日、役員登用(大西知・若橋竜造・平井真治郎)、准役員登用(高垣光治・雲庵春彦・岩橋元博・片山直明・片山和信)
- 10月24日、宮森与一郎先生によるおてふりお手直し第3回(話所、22名)
- 10月26日、秋季大祭
- 10月26日、おかえり講話(話所、約180名、講師は穴井隆将(天理大学柔道部監督))
- 10月26・27日、赤峰別席団参(350名帰参、初席10名、中席26名)
- 10月27日、第95回天理教青年会総会(本島より125名参加)
- 11月3日、第29回女子青年大会(教会本部、本島より71名参加)
- 11月3・4日、本水島分教会屋根茸替鎮座奉告祭(山下英久会長、岡山県倉敷市、29名)
- 11月17日、関東ブロック地域の集い(本京分教会、27名)
- 11月10日、ホノルル教会創立90周年記念祭(斉藤カーレン会長、米国ハワイ州ホノルル市)
- 11月10日、九州ブロック地域の集い(赤峰分教会福岡布教寮、16名)
- 11月14日、香川秀孝氏(攝淡分教会4代会長)お出直し、享年51歳
- 11月16日、本島分教会創立100周年記念祭(長尾海和会長、香川県丸亀市、26名)
- 11月22日、大教会11月月次祭(神殿講話・岡崎八十則准役員)
- 11月23日、青年会本島分会総会(大教会、18名)
- 11月30日、池田恒治(旧姓中山、本名實部属)ゆりえ(安藝本中)結婚式
- 12月22日、大教会12月月次祭(神殿講話・牧野道昭役員)
- 12月22日、大教会神殿奉仕人11名指名
- 12月22日、青年会本島分会委員辞令(追加1名)

大教会神殿奉仕人登用

(立教182年12月22日付)

- 長濱充憲
- 小野教泰
- 齋藤義彦
- 西森俊彦
- 星幸治郎
- 伊東賢太郎
- 鎌田康典
- 後藤真也
- 吉田貴慶
- 肥後良子
- 長尾善絵
- 【以上11名】

少年会隊長任命

(立教182年12月22日)

- 文峰隊 小山哲平
- 肥後八峰隊 肥後一希
- 以上

青年会委員辞令

(立教182年12月22日付)

- (追加)
- 副委員長 香川高範
- 以上

十二月月次祭 祭典役割

神殿講話	胡三味線	池田さわみ	和田敏恵	片山美穂
	小琴	寺本教生	長尾海和	菅岡和美
	すりがね	岩橋慶三	後藤正治	鎌田典夫
拍子木	窪田靖明	篠原丕王	香川勝己	上山康雄
ちゃんぽん	老木邦光	片山直明	吉野俊宏	吉田知彦
てをどり	井上哲	奥村龍夫	吉田知彦	吉田知彦
地	岡崎俊郎	吉田晴雄	伊東康成	伊東康成
座りづとめ	西山道教	宮路和徳	渡部友見	渡部友見
祭主	大教会長	井上哲	向所隆文	向所隆文
指図方	老木邦光	西山道教	永島宗行	永島宗行

献饗長 牧野道昭
 伝 供 平井真治郎・篠原丕王・吉田晴雄・岡崎八十則・大上道徳・原口実・後藤正治・伊東康成・吉田知彦・高島栄造・宮路和徳・茶屋原良昭・肥後章・位下道治・渡部友見・鎌田典夫・阿部盛夫・宮路茂照・山下英久・須崎晴道・
 村田輝夫・西森正昭・星久・川村吉夫・滑川善久・時久英次・溝口晋太郎・倉嶋孝明
 雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・雲庵春彦・横関茂治・片山直明・長尾海和・岩橋守行・香川高範・鎌田康典(順不同)

十二月月次祭祭文

立教百八十二年十二月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。
 親神様の自由の御守護と厚き親心のまにまに、日々結構にお連れ通り頂く中に、今日は早くも納めの月次祭を執り行う日柄となりました。

思い返せば、本年は二年半後の来る立教百八十五年を迎えます、当大教会創立百二十周年記念祭を目指して、一手一つに心を結び、活動の目標として、一つ、教祖のひながたを辿る、一つ、おつとめの勤修、一つ、初席者、また中席者を丹精して満席へ、一つ、道の将来を担う人材の育成、の四つのかどめを掲げて、成人への歩みに努め励ませて頂いてまいりましたが、届かぬながらも日々結構にお連れ通り賜りましたことは、何よりも有難く、心から厚く御礼申し上げます。

ここに、一年の歩みを振り返り、常に変わらぬお導きと御恵みに御礼申し上げます、只今より、おつとめ奉仕者一同心を一つに揃えて、座りづとめ、てをどりを、陽気に勇んで勤めて、十二月の月次祭を執り行わせて頂きます。
 御前には、寒さ厳しい師走の最中をいわず、大勢の教え子たちがおうたを唱和し

て、共に御礼申し上げます。眞実の状をもご覧下さいます、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

私共、教会長、ようばく、信者一同は、今年一年におかけ頂きました親心と御守護の数々に、改めて御礼申し上げますと共に、これまでの歩みを今一度見つめ直し、心新たに御恩報じの道を歩ませて頂く決意でございます。

何卒、来る新たな年も変りなく、お連れ通り下さいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。
 (原文のまま)

入社祭

(立教182年12月22日)

▼安藝本中△池田恒治 【計1名】

12月22日(日)
 【香川県丸亀市】
 天候 曇後雨
 最低気温 5.7℃
 最高気温 9.4℃
 平均気圧 1018.8 hPa
 平均湿度 85%
 平均風速 1.5 m/s
 日照時間 0.0 時間
 降水量 7.5 mm
 ※降水量は一日の総雨量



教会長夫妻研修会

【教会長子弟育成委員会】

- 日時：立教183年1月25日(土) 12時50分より17時30分まで
- 会場：本島詰所4階講堂
- 対象：教会長夫妻(教会長欠席の場合、代理の方をお願いします)
- 受講御供：500円
- 講師：中臺勘治先生 (報徳分教会前会長・日本橋大教会布教部長)
- 参加報告書：参加・不参加に関わらず、全教会ご提出ください

少年会年頭幹部会

【少年会本部】

- 期日：1月27日午前9時30分より (午前8時30分詰所写真の間集合)
- 会場：第二食堂
- 対象：どなたでも参加できます。バスで送迎いたします。

鼓笛隊北海道地区冬季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 期間：1月10日(金)から13日(祝)
- 会場：本樺分教会
- 派遣指導員：鎌田典夫、伊東賢太郎、岡崎希恵

1月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：1月21日～22日
- 派遣教会：同朋①、本勇①、本九②

〈詰所・春季大祭ひのきしん〉

- 期間：1月24日20:00～27日8:00
- 派遣教会：本室①、渋谷①、本京①、本浜①、本岡崎①、本攝①、本福①、本山海①、本清水①、本阿波①、本九①、本九台①、赤峰②

学生生徒修養会大学の部

【学生会】

立教183年学生生徒修養会大学の部

- 期間：3月3日(火)～9日(月)
- 受講資格：令和2年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校、高等専門学校(4年生以上)に在学し、全期間を通して受講できる者
- 受講人員：700名(男女各350名)
- 内容：講義、グループワーク、にいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。期間中に別席を1席運べる日あり
- 受講御供：10,000円(うち半額が大教会ろくち会より助成されます)
- 受付期間：令和2年1月8日～2月25日
- 申込方法：受講願書1通、返信用封筒1枚(住所、氏名、郵便番号を記入し、84円切手を貼付)を整え、大教会長の署名・捺印を頂いて、学生担当委員会事務局へ
- 集合：3月3日正午、本島詰所
- 解散：3月9日午前10時頃、本島詰所
- 宿舎：本部施設
- 注意点：3月3日宿舎受付時に学生証の提示を求められます。お忘れなく
- 詳細については大教会(池田さわみ)まで。また、受講願郵送の場合は本島詰所宛「学生担当委員会 横関茂治」と明記ください。

布教の家入寮者募集

【布教部】

- 期間：3月29日「入寮研修会」から、翌年3月27日「卒寮の集い」まで
- 資格：①所属教会長ならびに直属教会長から推薦された天理教教人。ただし、1ヶ所の布教の家には、原則として1直属から1人とする。②年齢は問わない。ただし、毎日布教に歩くことができること。③単身での入寮に限る。
- 願書：①入寮願、②経歴書、③健康調査票、④小論文「入寮の動機および心構え」、⑤写真2枚。願書は布教一課に取りにお越し下さい。
- 願書受付：1月25日午前9時から2月25日午後4時まで、布教一課へ持参。※郵送での提出はできません。各寮(教務支庁)では受付できません。
- 入寮研修会：入寮許可者に対し、3月29日～30日の2日間おちばにて研修会を開催し、終了後そのまま現地へ出発します
- 詳細については、布教一課(電話0743-63-2243直通)へお問い合わせ下さい

学修・高校卒業生コース

【学生会】

立教183年学生生徒修養会高校卒業生コース

- 期間：令和2年3月10日(火)～12日(木) [2泊3日]
- 受講対象：①令和元年度高等学校卒業予定者※卒業後の進路は問いません。※天理高等学校第I部、第II部、天理教校学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。②全期間を通して受講できる者
- 定員：500名
- 受講御供：5,000円(うち2千円を大教会ろくち会より助成されます)
- 内容：講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
- 集合日時：3月10日(火)午前9時～9時30分
- 解散日時：3月12日(木)午後2時頃
- 申込方法：次の書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。・受講願書1通・返信用封筒1枚(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください)
- 申込期間：令和元年11月25日(月)～令和2年1月31日(金)※定員になり次第締め切られます
- 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送されます。
- 本人の意思を確認の上、お申し込みください。
- 受講願書はWebsiteでもダウンロードできます。

<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

【ひのきしん隊本隊】

- 期間：2月1日から2月24日まで
- 集合：1月31日、本島詰所
- 貸与物品：ヘルメット・作業服・ハッピー・帯
- 携行品：保険証、日用品、作業用ベルト、作業用靴下、履き物(日常用・作業用・サンダルあれば便利)、ネクタイ、カッターシャツ、スラックス、白靴下、筆記用具
- 参加対象：高校生(17歳)以上の男子。青年会層以上(41歳以上)でも大歓迎
- 宿泊先：〒632-0012 天理市豊田町200-1 第百母屋青年会ひのきしん隊
- 【ひのきしん隊3日隊】
- 期間：2月14日午後3時から2月16日午前8時まで
- 詳細については青年会本島分会委員まで